

令和7年度
近畿大学大学院 総合文化研究科 入学試験
【社会人】

日 本 文 学 専 攻
専 門 科 目 試 験 問 題

【言語・文学コース】

試験開始の合図があるまでに、次の注意事項をお読みください。

- 1) 解答はじめの合図があるまで、問題冊子を開かないでください。
- 2) 机の上には、受験票、HBの黒鉛筆又はシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り(電動式は除く)、時計(時計機能だけのもの)、眼鏡以外のものは置かないでください。
- 3) 辞書については、持ち込を許可されている専攻・コースのみ使用可能です。(電子辞書は除く)
- 4) 試験開始後、解答用紙にコース名・受験番号・氏名を記入してください。
- 5) 試験開始後に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁等に気が付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 6) 試験終了後、問題冊子はお持ち帰りください。

令和7年2月15日実施

令和7年度 総合文化研究科 社会人入学試験・後期 専門科目
(日本文学専攻 言語・文学コース)

問題1と問題2の問いにそれぞれ答えなさい。

※あらかじめ問題を蓄積して活用し、複数回実施を可能とするため試験問題を非公開とする。

《出題意図》

大学院で研究を進展させるうえで不可欠と思われる日本近代文学および批評理論に関する基礎的な事項や知識を事前に網羅的に習得し、それを論理的に解説することが可能か否かを問うことに出題の意図がある。